

イベント報告 第4回 緑の探索ウォーク(2017.4.22) 淀川河川敷とその周辺 探索

ちょうど二十四節氣でいう「穀雨」でもあり、雨が心配でしたが日焼けするほどのいい天気になりました。ちょっと早めの初夏のような陽気の中、緑プロジェクト第4回目の公開イベント「淀川河川敷とその周辺 緑の探索ウォーク」を行いました。

今回のコースは、阪急水無瀬駅りそな銀行前を出発し、国道171号線を越え4小を右手に見て、淀川右岸堤防に着きます。ここから河川敷に降りて探索がスタートです。ゴルフ場跡地周辺～河川公園周辺を探索した後公園内で昼食休憩。午後からは、水無瀬川を渡り山崎の放水路で折り返して、再度、水無瀬川を渡って江川付近で右岸堤防に上ります。土手沿いの植物を探しながら高浜まで戻り、往路と同じ道を通って水無瀬駅に戻ります。

河川敷植生の特徴としては、平坦で水の供給がよく植物の生育には好適な条件に恵まれていますが、一方洪水などで洗い流される環境（氾濫原）なので群落は成立しにくく、上流から流れ着いて根付いた色々な植物や外来種も多くなっています。その上、洪水・浸水による流出などで植生の変化が多い地域といえます。また、河川公園の芝地やヨシ原のように草地環境が優占するほか、水際に面してヤナギ類も広範囲に分散しています。

植物探索マップに記載の、**草37種**×**木12種**について、参加者とともに確認することができました。シダ類は、日当たりの良い環境が生息しにくいのか未確認です。草本類は高茎のイネ科の植物が優占し、中程度の高さのイネ科植物や外来種も多くみられました。

本日のイベント出席者はスタッフ、参加者（半日参加を含む）合わせて18名となりました。掲示板（ポスター）あるいは広報を見て参加したという方が多かったようです。



河川敷、高浜付近



オドリコソウ



河川敷、山崎付近



右岸堤防、江川付近



シリーズ9

淀川河川敷と桂川河川敷

